

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ア	イ	ウ
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 $\frac{1}{4}$

健康保険 傷病手当金 支給申請書

1 2 3 4

被保険者(申請者)記入用

申請内容	1) 傷病名	2) 傷病名	2 発病または負傷年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	3) 傷病名					
	3 該当の傷病は病気(疾病)ですか、ケガ(負傷)ですか。	☐ 1. 病気	(発病時の状況)			
			2. ケガ → 負傷原因届を併せてご提出ください			
4 療養のため休んだ期間(申請期間)	(令和) 年 月 日	から	日数	日まで		
5 あなたの仕事の内容(具体的に) (退職後の申請の場合は退職前の仕事の内容)						

確認事項	1 上記の療養のため休んだ期間(申請期間)に報酬を受けましたか。または今後受けられますか。	☐ 1. はい	☐ 2. いいえ
	1-1 「はい」と答えた場合、その報酬の額と、その報酬支払の基礎となった(なる)期間をご記入ください。	令和 年 月 日 から	報酬額 円
		令和 年 月 日 まで	
	2 「障害厚生年金」または「障害手当金」を受給していますか。受給している場合、どちらを受給していますか。	☐ 1. はい	☐ 1. 障害厚生年金
		☐ 2. 請求中	☐ 2. 障害手当金
	☐ 3. いいえ		
2-1 「はい」または「請求中」と答えた場合、受給の要因となった(なる)傷病名及び基礎年金番号をご記入ください。	傷病名		
	基礎年金番号		
	年金コード		
「請求中」と答えた場合は、傷病名・基礎年金番号をご記入ください。	支給開始年月日		
	年金額 円		
3 (健康保険の資格を喪失した方はご記入ください。)老齢または退職を事由とする公的年金を受給していますか。	☐ 1. はい	☐ 3. いいえ	「はい」の場合
	☐ 2. 請求中		
3-1 「はい」または「請求中」と答えた場合、基礎年金番号等をご記入ください。	基礎年金番号		
	年金コード		
	支給開始年月日		
	年金額 円		
4 労災保険から休業補償給付を受けていますか。(または、過去に受けたことがありますか。)	☐ 1. はい	☐ 3. いいえ	「はい」の場合
	☐ 2. 労災請求中		
4-1 「はい」または「労災請求中」と答えた場合、支給元(請求先)の労働基準監督署をご記入ください。	労働基準監督署		

健康保険傷病手当金支給申請書記入の手引きの「添付書類を」用意ください。および「支給期間と支給額」を確認ください。

「事業主記入用」は3ページに続きます。>>>

健康保険 傷病手当金 支給申請書

1 2 3 4

事業主記入用

労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況および賃金支払状況等をご記入ください。

事業主が証明するところ

被保険者氏名																																							
勤務状況 【出勤は○】で、【有給は△】で、【公休は公】で、【欠勤は／】でそれぞれ表示してください。																																	出勤	有給					
令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日			
令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日			
令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日			
上記の期間に対して、賃金を支給しました(します)か？			☐ はい ☐ いいえ		給与の種類		☐ 月給 ☐ 時間給 ☐ 日給 ☐ 歩合給 ☐ 日給月給 ☐ その他		賃金計算		締日		日																										
											支払日		☐ 当月 ☐ 翌月		日																								
上記の期間を含む賃金計算期間の賃金支給状況をご記入ください。																																							
支給した(する)賃金内訳	期間	単価	月 日 ～ 月 日分		月 日 ～ 月 日分		月 日 ～ 月 日分		賃金計算方法（欠勤控除計算方法等）についてご記入ください。																														
	区分		支給額		支給額		支給額																																
	基本給																																						
	通勤手当																																						
	住居手当																																						
	扶養手当																																						
	手当																																						
	手当																																						
	現物給与																																						
計																																							
上記のとおり相違ないことを証明します。																																	令和	年	月	日	担当者氏名		
事業所所在地																																							
事業所名称																																							
事業主氏名																																							
電話																																	()						

記入例

1 事業主が証明するところ

被保険者氏名		健保 太郎																																							
勤務状況 【出勤は○】で、【有給は△】で、【公休は公】で、【欠勤は／】でそれぞれ表示してください。																																	出勤	有給							
令和	6	年	2	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	4	2			
令和	6	年	3	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	3	0			
令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日					
上記の期間に対して、賃金を支給しました(します)か？			☒ はい ☐ いいえ		給与の種類		☒ 月給 ☐ 時間給 ☐ 日給 ☐ 歩合給 ☐ 日給月給 ☐ その他		賃金計算		締日		15																												
											支払日		☒ 当月 ☐ 翌月		25																										
上記の期間を含む賃金計算期間の賃金支給状況をご記入ください。																																									
5 支給した(する)賃金内訳	期間	単価	2月16日 ～ 3月15日分		月 日 ～ 月 日分		月 日 ～ 月 日分		賃金計算方法（欠勤控除計算方法等）についてご記入ください。 基本給・通勤手当：欠勤控除あり 300,000÷20日×14日＝210,000 10,000÷20日×14日＝7,000 住居手当：欠勤控除なし																																
	区分		支給額		支給額		支給額																																		
	基本給	300,000	90,000																																						
	通勤手当	10,000	3,000																																						
	住居手当	20,000	20,000																																						
	扶養手当																																								
	手当																																								
	手当																																								
	現物給与																																								
計	330,000	113,000																																							
上記のとおり相違ないことを証明します。																																	令和	6	年	3	月	31	担当者氏名	〇〇 〇〇	
事業所所在地																																	〇〇市△△1丁目2番3号								
事業所名称																																	〇〇株式会社								
事業主氏名																																	健太郎								
電話																																	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇								

【被保険者の方へ】

1 お勤め先の事業所に証明を受けてください。資格喪失日以降の期間に関する申請については、空欄でご提出ください。

【事業主の方へ】

- 2 労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間(賃金計算の締日の翌日から締日の期間)の勤務状況について、出勤した場合は○で、有給の場合は△で、公休日の場合は公で、欠勤の場合は／で表示してください。
- 3 給与の種類について、該当する給与の種類を選んでください。
- 4 賃金計算の締日および賃金の支払日をご記入ください。
- 5 労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間における賃金支給状況についてご記入ください。また、賃金支給状況がわかるよう、賃金計算方法や欠勤控除計算方法等をご記入ください。

※3か月を超えて証明する場合は、当ページをコピーして超えている部分をご記入ください。

※訂正される場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。

「療養担当者記入用」は4ページに続きます。》》》

健康保険 傷病手当金 支給申請書

1 2 3 4

療養担当者記入用

療養担当者が意見を記入するところ

患者氏名		
傷病名	(1) 療養の給付開始年月日 (初診日)	(1) 令和 年 月 日 (2) 令和 年 月 日 (3) 令和 年 月 日
発病または負傷の年月日	令和 年 月 日	発病または負傷の原因
労務不能と認められた期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 日間	
うち入院期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 日間 入院	療養費用の別 ☐ 健保 ☐ 公費 () ☐ 自費 ☐ その他 転帰 ☐ 治癒 ☐ 中止 ☐ 繰越 ☐ 転医
診療実日数 (入院期間を含む)	診療日を○で囲んでください。 (入院日含む)	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)		手術年月日 令和 年 月 日 退院年月日 令和 年 月 日
症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見		
人工透析を実施または人工臓器を装着したとき	人工透析の実施または人工臓器を装着した日	人工臓器等の種類 ☐ 人工肛門 ☐ 人工関節 ☐ 人工骨頭 ☐ 心臓ペースメーカー ☐ 人工透析 ☐ その他 ()
上記のとおり相違ありません。		
医療機関の所在地		
医療機関の名称		
医師の氏名		
電話 ()		

記入例

1 患者氏名	健保 太郎
2 傷病名	(1) 急性肺炎 (2) (3)
3 療養の給付開始年月日 (初診日)	(1) 令和 6 年 2 月 22 日 (2) 令和 年 月 日 (3) 令和 年 月 日
4 発病または負傷の年月日	令和 6 年 2 月 22 日
5 労務不能と認められた期間	令和 6 年 2 月 22 日から 令和 6 年 3 月 12 日まで 20 日間
6 うち入院期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 日間 入院
7 診療実日数 (入院期間を含む)	診療日を○で囲んでください。 (入院日含む)
8 上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)	手術年月日 令和 年 月 日 退院年月日 令和 年 月 日
2/22風邪の症状にて受診。検査の結果、急性肺炎を認め、療養が必要。	
症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見	
高熱、咳、倦怠感等があり、症状が落ち着くまで療養が必要であったため、労務不能と判断した。	
人工透析を実施または人工臓器を装着したとき	人工透析の実施または人工臓器を装着した日
人工臓器等の種類	☐ 人工肛門 ☐ 人工関節 ☐ 人工骨頭 ☐ 心臓ペースメーカー ☐ 人工透析 ☐ その他 ()
上記のとおり相違ありません。	
医療機関の所在地	
医療機関の名称	
医師の氏名	
電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	

【被保険者の方へ】

- ① 療養担当者(医師等)の意見を受けてください。
※病院を転院した場合は、それぞれの病院で療養担当者(医師等)の意見を受けてください。

【療養担当者の方へ】

- ② 複数の傷病名がある場合、(1)から主たる病名を順次ご記入ください。
- ③ 左の傷病名について、その傷病の初診の日をご記入ください。
- ④ 治療期間でなく、療養のため就労できなかったと認められる期間とその日数をご記入ください。また、**証明日以前の期間**をご記入ください。
- ⑤ 症状および経過、労務不能と認められた医学的な所見を詳しくご記入ください。

※3か月を超えて証明する場合は、当ページをコピーして超えている部分をご記入ください。

※訂正される場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。